

令和4年度 柏市小児インフルエンザ予防接種について(説明書)

柏市小児インフルエンザ予防接種を受ける前に必ずお読みください

○予防接種を受ける前に

柏市小児インフルエンザ予防接種は、予防接種法に基づかない任意予防接種のインフルエンザ予防接種を、柏市が独自に費用助成を行うものです。

予診票を記入し、わからないことや気がかりなことがあれば、医師や看護師等とよく相談してください。十分に納得できない場合には、予防接種を受けないでください。

○インフルエンザとは？

季節性インフルエンザは急性呼吸器感染症で、発熱、悪寒、頭痛、筋肉痛などの全身症状が突然あらわれます。潜伏期は24～72時間です。呼吸器症状は遅れて出現することが多く、鼻閉、咽頭痛、せきなどです。合併症がなければ2～7日で治癒します。合併症、特に肺炎や脳症を併発した場合は重篤となります。(「予防接種と子どもの健康」より)

○小児インフルエンザ予防接種の効果

乳幼児のインフルエンザワクチンの有効性に関しては、報告によって多少幅がありますが、概ね20～60%の発病予防効果があったと報告されています。また、乳幼児の重症化予防に関する有効性を示唆する報告も散見されます。(「予防接種と子どもの健康」より)

○予防接種を受けることができない方

- ①明らかな発熱を呈している人(体温が37.5℃以上の人)
- ②重篤な急性疾患にかかっている人
- ③インフルエンザワクチンに含まれる成分によって、ひどいアレルギー反応やショック状態を起こしたことが明らかな人
- ④以前にインフルエンザの予防接種を受けたとき、2日以内に発熱、発疹、じんましんなどのアレルギー反応と想定される異常が見られた人
- ⑤その他、医師が予防接種を行うことが不適切な状態と判断した場合

○インフルエンザ予防接種の副反応

予防接種を受けた後、接種した部位が腫れたり、痛むことがあります。また、発熱、悪寒、頭痛、全身のだるさなどが見られることもありますが、通常2～3日のうちに治ります。

予防接種を受けた後、接種部位のひどい腫れや熱、全身のじんましん、呼吸困難、繰り返す嘔吐、低血圧、高熱などの副反応と思われる症状が現れたら、接種した医師に相談し、医師の診察を受けてください。

○予防接種による健康被害救済制度について

任意の予防接種によって引き起こされた副反応により、医療機関での治療が必要になったり、生活に支障がでるような障害を残すなどの健康被害が生じた場合には、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づく救済の対象となる場合があります。

○予防接種を受けた後の注意

- ①予防接種を受けた後30分間は、急な副反応が起こることがありますので、医師(医療機関)とすぐ連絡がとれるようにしておきましょう。
- ②接種当日の激しい運動は、それ自体で体調の変化をきたす恐れがあるため、避けましょう。
- ③予防接種当日の入浴は差し支えありません。